

■会長／飯田 兼光 ■幹事／平林 正光

◆司会＝前島 正SAA、善治 直樹副SAA

◆ゲストビジター＝長野東ロータリークラブ鳥井清司様、郎
晟鈞さん

◆出席報告

本日	71.43%	14 名欠席
前回訂正	77.55%	11 名欠席

◆ラッキーナンバー＝No. 16 善治直樹君

◆ニコニコボックス＝●飯田兼光君・平林正光君＝長野東ロータリークラブ・米山カウンセラー鳥井様、奨学生郎晟鈞（ろせいきん）さん、ようこそ諏訪へ。●小平直史君＝本日は米山委員会の担当例会です。米山奨学生郎晟鈞さん、カウンセラー鳥井様よろしくお願ひします。●平林明君・大庭剛君・笠原正司君・吉越潔君＝米山奨学生郎晟鈞さん、カウンセラー鳥井様ようこそ諏訪ロータリークラブへ。卓話楽しみにしております。よろしくお願ひします。●神谷尋文君＝楽天トラベルの食事評価が高いランキングで布半が全国 9 位にランキングされました、ありがとうございます。今後も美味しい料理を提供できるよう努力していきます。●古屋了君＝横田ミュージックフェスへのご協力を賜りありがとうございます。●善治直樹君＝ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・飯田兼光君＝ニュースで連日、暑い暑いと言われ続けてきましたが、いよいよ本格的な秋の到来を感じることとなり、紅葉が山々を飾り始める 10 月を迎えました。さて今月は皆様ご存知の通り米山月間です。そして本日は、長野東ロータリークラブより米山カウンセラーの鳥井清司様、そして奨学生の郎晟鈞さんにお越しいただきました。後ほどよろしくお願ひいたします。今月の米山月間と 9 月のロータリーの友月間が日本独自の特別月間テーマであることはご存知の通りだと思います。では、国際ロータリーが指定する特別月間として 10 月はどうなテーマでしょうか？10 月はロータリーの七つの重点分野の一つである地域社会の経済発展月間です。これは世界的な貧困問題の解決を目指すとともに、人々が自立し、生産的な仕事に就けるよう支援する活動に焦点を当てる重要な期間です。私たち諏訪ロータリークラブにとって、このテーマは特に身近なものです。諏訪地域は古くから精密機械産業で栄え独自の技術と文化を育んできました。時代の変化とともに地域経済の活力を維持し、次世代へ承継していくことは、私たちロータリアンの重要な使命となっています。地域社会の経済発展とは、私たちが日々暮らすこの諏訪の地で具体的な行動を起こすことに他なりません。地元企業が新しい挑戦をする際の知恵やネットワークを共有する、若者や起業家が夢を実現するための後押しをする諏訪の技術や観光資源といった強みを生かし、地域全体の魅力を高めるということです。ロータリアンである私たちが、それぞれの事業で培った職業の専門性と地域への深い愛着を持っています。この貴重な資源を生かし具体的な行動を起こすことで、諏訪の経済をさらに強く持続可能なものにすることができると確信しております。今期地区テーマ「100 の言葉より 1 つ

の行動を起こそう」のもと、クラブの委員会活動や個々の事業活動を通じて、諏訪の元気につながるアイデアを出し合い具体的な奉仕へとつなげていくことが必要だと考えます。そして先ほど申し上げた米山月間もこのテーマと深く結びついています。米山奨学生への支援は、将来の国際的な経済発展を担う人材を育てることであり、地域社会の経済発展というロータリーの理想を実現する一歩だからです。この 10 月が、私たち全員が諏訪地域の未来を考え行動を始めるきっかけとなることを期待し、会長告知といたします。

◆幹事報告・平林正光君＝①本日の例会は米山特別月間となります。小平委員長よろしくお願ひいたします。②本日のゲストビジターは長野東ロータリークラブ・米山カウンセラーの鳥井清司様、米山奨学生郎晟鈞さんです。郎さんには後ほど卓話をいただきます。③10 月のロータリーレートは 1 ドル 149 円となります。④10 月 26 日にポリオ撲滅チャリティーゴルフがございます。諏訪地区よりゴルフに参加できない方にもチャリティー金をお願ひしたいと通知が来ております。お 1 人 1,000 円をよろしくお願ひいたします。⑤来週 10 月 10 日の例会は、小林ガバナー公式訪問となります。例会終了後には湖畔のやわらぎ像前で記念写真の撮影を行ないます。多くの会員の皆様のご出席をよろしくお願ひします。⑥本日例会終了後、理事会を開催します。理事の皆さんはお集まりください。⑦山崎家より葬儀のお礼が届いておりますので皆さんにご報告いたします。

◆クラブ協議会『米山特別月間』

●米山奨学会委員長・小平直史君＝皆さんこんにちは、今日は米山奨学会の担当例会ということで、お 2 人にお越しいただきましたので、私からは最初だけお話を少しさせていただきますが、米山奨学会の寄付を、毎回言っておりますけれども、ぜひともお願ひしたいと思います。山田委員長のロータリー財団と一緒に、協力しながらやっていきたいと思っています。米山の決算報告を見ますと、全部でだいたい事業費が 15 億円ぐらいだそうです。実際の奨学金の方は 13 億円ほどであり、ほぼ 100%近くを寄付で賄われているということのようでございます。ぜひ、今年も皆さんのご寄付をよろしくお願ひしたいと思います。それでは鳥井さん、郎さんお 2 人にお話をさせていただきます、よろしくお願ひします。



●長野東ロータリークラブ・米山カウンセラー鳥井清司様＝諏訪ロータリークラブの皆様、こんにちは、長野東ロータリークラブ米山奨学生カウンセラーの鳥居です。よろしくお願ひいたします。本日の奨学生、郎晟鈞君は奨学生 2 年目になります。現在、信州大学工学部の修士 2 年生となっておりますが、すでに内定をいただいております、4 月からあの有

名な本田技研工業に決まっております。今は最後の学生生活を悠々と楽しんでいるところでございます。本日は卓話の機会をいただきましてありがとうございます。それでは郎君自己紹介を含めてよろしくお願いいたします。



●長野東ロータリークラブ・奨学生郎晟鈞君=こんにちは、長野東ロータリークラブの郎晟鈞と申します。信州大学の修士の2年生です。私の本日の卓話のテーマは、私と私の故郷となっております。皆さんよろしく申し上げます。まず私についてですが、私は中国の大連に生まれて、2017年9月に日本に来ました。名古屋・大阪・東京などに住んだことがあります。今、筋トレでこういう体をしていますが、園芸も楽しんでおり、バラも育てています。さて、中国はだいたい漢族というふうに言われていますが、私は、少数民族の「満族」という民族であります。満族は中国の0.5%の人口を占めており、「郎」という苗字は昔の王族の名字となっているらしく、「乾隆帝」の母、「孝聖憲皇后」という人と同じ名字をしています。こちらが私の族譜ですが（スクリーン投影）、このように代々と書かれており、僕のところは一番左下です。実は、あの文化大革命の時には、これを燃やそうとした人がいまして私の先祖がこれを必死に保存したものです。ここに注目していただきたいと思います。中国語で「シャズ」と記載があり、日本語で言えば「バカ」という名字が書いてあります。昔は何か大きな問題が起きると一族が罰を受けることになるそうでしたが、誰か一人がバカになることで、その罪をかぶり一族を救うということがありました。さて、僕は今、深層学習を用いた、眼球の血管のセグメンテーションの研究をしています。目の疾患は早期の発見が難しいという背景がありましたが、自分が改良したモデルは高速度で結果をセグメンテーションすることができ、精度も最高95%となっています。表示されていない毛細血管は非常に小さい血管となっていますので、今はそれについても考えております。修士の研究テーマは、車センサーです。従来、車は自分自身でそのセンサーを用いて周囲の情報を検知するようになっていますが、例えば、前に大きいバスがあると、前の状況はセンサーで検知できない、死角が出るという問題があります。そこに深層学習と画像処理を用いて、車載センサーに頼らない、死角のない交通情報システムの構築の検討を研究しています。具体的には、リアルタイムの鳥観図を生成して特定の車に通知することで、前方がどういう状況なのか？周りに死角の情報を知らせるというシステムです。さて、私の性格は社交的だと思っています。現役の米山奨学生全員と交友があります。信州大学では留学生イベントの主催者の一員として、副会長をやっております。2か月前ぐらいには新入生の歓迎会を開催しました。つぎに大連の天気と食事と人々について話したいと思います。大連は海に囲まれた街で、夏は暑くても26℃で、冬は寒くても氷点下4℃しかないため、多くの家庭にはエア

コンはありません、風がとても涼しいからです。しかし、大連には「妖風」があります。よく言われているのは、大連の女子はスカートを履かないです。なぜかと言いますと、風が吹いてきて飛んでしまうからです。また、大連は最も優れた観光都市と中国政府に評価されています。どこからでも海が見えます。「星海湾海上大橋」ではライトショーを毎日やっております。そして大連の食文化について話したいと思います。あっさりとした味付けが特徴で、食材の自然な味を生かすため余計な調味料を使わないのが基本です。このような食文化は健康的で、食材の本来の味を徐々に混ぜることが出来ます。また、北京の高級料理の「ねぎ焼きナマコ」に使われているのは、大連の海でしか取れないナマコです。あと、遼寧省の料理では、大連産のアワビを使った「紅焼（ホンシャオ）アワビ」があります。紅焼は中国の煮込み料理の一つであり、濃いめの醤油と砂糖と紹興酒で煮込み、ドロドロになって甘くて塩っぱい味がする調理法です。生で食べる特産物としては「バフンウニ」。日本でもよくあると思いますが、バフンウニは、大連の海でも養殖されているので鮮度が抜群で、取れたウニをその場で割って直接食べることができます。また、特に有名なのは、大連産の「シャコ」です。他にも、「日本豆腐」「千葉豆腐」という日本の地名のついた食材があります。「千葉豆腐」は、主に乾燥した大豆で作られていて、噛み応えがある食感が特徴です。名前に豆腐とありますが、実際は豆腐製品とは関係が薄いらしくて、成分の構造や内部の組織の構造や食感は豆腐と本質的に異なるらしいです。また、千葉豆腐は、冷蔵保存ができず-18℃で冷凍保存する必要がありますらしいです。次に、大連の人々について話したいと思います。大連の人はとにかく見た目を重視する人が多いらしいです。大連は経済が比較的早くから発展したため、住民たちは早くからファッションの業界に触れる機会がありました。皆さんがお金持ちというわけではないですが、ほかのことよりも服装にお金を使っているからです。母からはよく、見た目は大事だからちゃんと整えなさいと言われていました。ルイヴィトンのような高級ブランドも、北京や上海に出店の後、大連に出店しました。大連には5つの高級ブランドファッションモールがあります。また、大連ではビールを飲みながら海鮮を食べることが一般的です。街中では、大連の男性がビールを飲みながら自分の自慢話をしている光景をよく目にします。そして、大連の人は、よく奢ります。そして、「俺が奢る」という争いもよく見かけます。友達が手洗いにやっている間に、こっそり会計を済ませることもあります。次に、建物について話したいと思います。こちらは、「ザキャッスルラグジュアリーコレクションホテル」というホテルです（スクリーン投影）。このホテルは、遼寧省のお金持ちが妻に送ったプレゼントです。総額で約500億円をかけて建設され、ドイツのバイエルン地方にある建築様式でヨーロッパの貴族風の雰囲気が漂っています。ホテルの外観から内装に至るまですべてが丁寧にデザインされ、豪華さとロマンチックを語っています。大連はとてもグローバルな都市で、中国全土では唯一、鉄道は7カ国語でのアナウンスシステムが採用されています。これにより、外国人観光客にとっては非常に便利で、都市の国際化を強く感じています。また街中ではカフェやケンタッキーなどいたるところで様々な国籍の人がいます。その中で特に日本人の存在が多く、私自身

も高校時代に友達とケンタッキーで食事をしている時に、隣で自然に日本人がテレビ会議をしている場面覚えています。ちなみに、大連には最近、小京都という町が造られました。日本の京都をイメージし、建築材料は全部日本から輸送されたようです。では、大連と日本について話したいと思います。大連と友好都市関係にある日本の都市は、北九州市や舞鶴市など様々あり、大連には多くの日本企業があります、キャノン、パナソニック、東芝などです。大連は日本に対して非常に友好的で、お互いの文化や経済の交流が盛んです。しかしながら、現在の中国と日本は緊張の状態であり、もし将来、中国と日本が戦争するようなことがあれば、私はとても悲しいです。中国は私の母国であり家族がいます。そして日本には、私を支えてくれロータリーの皆さんがいます。両国には普通に仕事をしている家族、普通の人々がいます。私はそんな平和の状況を壊されることを決して望みません。私はこの広い世界の中で本当に小さな存在に過ぎませんが、それでも自分にできることをして、日本と中国の平和に少しでも貢献していくことができればと思っています。ちなみに私は、ティックトックをやっており、今は 2.4 万のフォロワーがいます。そこには主に日本の旅行と私の日々の生活を投稿していて、日本に来られない人に、日本の本当の生活を示すことができればいいと思い努力して作っています。ご清聴ありがとうございました。



◆今後の例会日程

10/10(金)	クラブ協議会 (ガバナー公式訪問)
10/17(金)	アクト夜間例会 (ローターアクト会員増強について)
10/24(金)	クラブフォーラム (ロータリー財団)
11/7(金)	クラブフォーラム (会員卓話)